

会 長	副会長	事業部長	担当者

## 令和 年度事業実施報告書 No.

年 月 日

職域事業部( )事業推進委員会

地域事業部( )事業推進委員会

### I 事業内容

記入者氏名

事業の名称				
事業の目的				
実施内容	内 容			
	対象者			
参加人数		名		
実施日及び時間		年 月 日 ( 曜日)		
		時 分 ~ 時 分		
実施場所	施設名			
	住 所			
	連絡先	TEL	FAX	
備考	委員人数		名	
	委員会回数	回		
	主催者または共催者会議等			
評事 価業				
その他				

## Ⅱ 事業経費

## 収入の部

費 目	予算額	決算額	適 要	
受講料費				
補助金等				
合 計				

## 支出の部

費 目	予算額	決算額	適 要	
旅費交通費				
通信運搬費				
消耗品費				
印刷製本費				
賃借料				
諸謝金				
雑 費				
合 計				

会 長	副会長	事業部長	担当者

## 令和 年度 事業報告(決算)

### 事業推進委員会

収 入 の 部			
科 目	予算額	決算額	摘 要
事業費			
研修会受講料			
合 計	0	0	

支 出 の 部			
科 目	予算額	決算額	摘 要
事業運営費	0	0	
旅費交通費			
通信運搬費			
消耗品費			
印刷製本費			
賃借料			
雑費			
事業費	0	0	
旅費交通費			
通信運搬費			
消耗品費			
印刷製本費			
賃借料			
諸謝金			
雑費			(公益事業比率 %)
合 計	0	0	
差 額	0	0	

会 長	副会長	事業部長	担当者

年度事業実施報告書 No.

年 月 日  
 職域事業部 ( ) 事業推進委員会  
 地域事業部 ( ) 事業推進委員会

I 事業内容

記入者氏名

事業の名称	〇〇〇〇教室		
事業の目的	基本的な生活習慣・食習慣が形成される時期にある小学校3・4年生の親子を対象に、……栄養教諭が中心となり……より効果的な指導の在り方を見出す。		
実施内容	内 容	1回目 ①おやつを食べ方を知ろう②気軽に体を動かそう③グループワーク(親子別々の4グループ×2)*①②の体験をもとに自分の生活を見直し 2回目 ①朝から野菜をたっぷり食べよう(料理教室)②野菜について知ろう③グループワーク(親子別々の4グループ×2) 3回目 ①生活リズムを整えよう②グループワーク(親子別々の4グループ×2)	
	対象者	肥満度30%以上の小学校3・4年生児童とその保護者 20組	
参加人数	40 名		
実施日及び時間	年 月 日 ( 曜日 )		
	時 分 ~ 時 分		
実施場所	施設名	◎◎市青少年ホーム	
	住 所		
	連絡先	TEL	FAX
備考	委員人数	10 名	
	委員会回数	3 回	
	主催者または共催者会議等 無		
評事 価 業			
その他			

\*講師がいれば講師名を記入

II 事業経費

費 目	予算額	決算額	適 要	
旅費交通費	11,030	10,600	担当者(運営委員)	9,600
			講師(氏名)	1,000
通信運搬費	8,820	384	講師依頼・後援依頼等	84
			案内	300
消耗品費	3,000	4,000	インク・ファイル・用紙	1,000
			調理実習材料代	3,000
印刷製本費	200	500	コピー代	500
賃借料	12,500	12,500	会場費(光熱費等含む)	12,500
諸謝金	11,137	11,114	講師(氏名)	11,114
雑費	3,000	300	保険料	300
合計	49,687	39,398		

\*交通費等については、旅費シートを使って領収してください。

\*講師謝金様式は別途添付しています。

※すべての領収を費目別に用紙に貼り付けて事務局へ提出してください  
 ※職域・地域事業部長への報告は、紛失の危険をさけるため、PDFファイルにするか、コピーを郵送してください。

会 長	副会長	事業部長	担当者

## 年度 事業実施計画書

### 〇〇〇〇事業推進委員会 No.2

#### I 事業内容

1	事業の名称	〇〇〇〇教室
2	事業の目的	基本的な生活習慣・食習慣が形成される時期にある小学校3・4年生の親子を対象に、……栄養教諭が中心となり……より効果的な指導の在り方を見出す。
3	実施内容（対象者・参加予定人数）	対象：肥満度30%以上の小学校3・4年生児童とその保護者 20組
		（1）実行委員会の開催 4回（企画・内容検討・役割分担等）
		（2）教室の開催 3回
	1回目	①おやつのお供え方を知ろう ②気軽に体を動かそう ③グループワーク（親子別々の4グループ×2）
		*①②の体験をもとに自分の生活を見直し、次回までの生活目標を設定する。
	2回目	①朝から野菜をたっぷり食べよう（料理教室） ②野菜について知ろう ③グループワーク（親子別々の4グループ×2）
		*自己目標に対しての振り返りを発表し合い、次の教室までの生活目標を設定する。
	3回目	①生活リズムを整えよう ②グループワーク（親子別々の4グループ×2）
		*3回の教室で体験したことや自己目標を立てて生活したことでの自分の意識や生活がどう変化があったか話し合わせ、自分の生活を考える。 ※グループは毎回同じメンバーとし、2～3名の対象児童・保護者に1人のサポート員（栄養教諭、養護教諭、教諭）をつける。 ※1～3回の開催期間、対象者に毎日の歩数と自己目標の達成有無等の生活記録をつけてもらう。
4	実施日	1回目：7月下旬      2回目：8月上旬      3回目：10月（体育の日頃）
5	実施場所	◎◎市青少年ホーム
6	共催・後援団体	◎◎市教育委員会、東部ヤクルト販売株式会社

※講師がいれば講師名を記入

#### II 事業経費

費 目	予 算	算出根拠（詳細を記入）	
旅費交通費	11,030	担当者（運営委員）10×500×2	10,000
		講師	1,030
通信運搬費	8,820	講師依頼・後援依頼等 84×5	420
		案内 84×100	8,400
消耗品費	3,300	インク・ファイル・用紙	1,000
		調理実習材料代	2,300
印刷製本費	200	コピー代	200
賃借料	12,500	会場費（光熱費等含む）	12,500
諸謝金	11,137	講師（氏名）	11,137
雑費	3,000	保険料	3,000
合計	49,987		

※実行委員の旅費日当……旅費+日当(源泉徴収税込)または弁当代

※講師旅費

※開催案内郵送料

※会場・器具貸出費

※講師謝金+源泉徴収税

※講師土産……できるだけ無(謝金がない場合の代替は可)

※振込手数料・保険料等